

緑のセンターだより

NO. 157 平成 24 年 4 月 1 日発行

発行元：（財）札幌市公園緑化協会 豊平公園緑のセンター

ジャガイモ (馬鈴薯) バレイショ

ナス科ナス属
Solanum tuberosum L

地下部に形成される「イモ」を採取するために栽培される多年草。地上部は秋に枯死するが、イモは越冬、翌春萌芽し生育を開始します。栽培ではイモが成熟した時に収穫し、食用にします。

茎は 60~100cm、茎頂に花序を生じ、節間に髓腔（ずいこう：茎の空洞）および茎翼（茎にヒレがつくこと）があり、植物体を支持します。葉は幼齢の下位節では単葉または不完全複葉ですが、5~6 節以上では栽培品種固有の羽状複葉になります。花は両性で複集散花序につき早朝に咲きます。色は品種により白、淡紅、紫などがあります。雄しべは 5 個、雌しべは 1 個、果実は液果（トマトのような肉質の実）で、種子は黄白色で大きさは 1.5~2.0mm。塊茎（イモ）は地下茎から発生したほふく枝の先端が肥大した物です。イモは茎に養分が蓄えられ肥大した物で、茎に分類され塊茎と呼びます（サツマイモは根で塊根です）。

野生種は 150 種ほどありますが、栽培種は 7 種で、アンデス以外の世界各地で栽培されているのは 1 種だけです。野生種の分布は北は北アメリカ・ロッキー山脈から赤道を越えて南アメリカ・アンデス山脈沿いに大陸のほぼ南端まで、大陸の南端と北の端では海岸近くの高さから、赤道付近では 4500m まで分布しています。現在の栽培種に近い種は中央アンデス高地に限られ、紀元前 8000~5000 年頃に栽培化されたと推測されています。

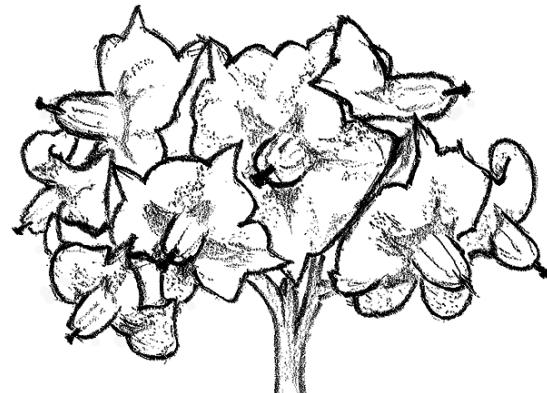
ヨーロッパに伝わったのはコロンブス以降の 16 世紀大航海時代に船員のポケットやバッグで持ち込まれたといわれています。ヨーロッパでは土の中にできる食べ物は聖書に記述がなく、食の習慣もなく「ペスト病の原因

だ！」などと感染症の原因にされ、容易に受け入れられなかつたようです。各地に広がるまで 100 年ほど要しており、広がってからも白いパンは上流階級、黒パンは中流階級、ジャガイモは「貧者のパン」と呼ばれ下層・貧民階級の食べ物との意識がありました。

日本に入ってきたのは 1600 年前後の長崎と言われており、北海道には 1706 年瀬棚村で「馬鈴薯を蒔く」、虻田でも 1786 年に持ち込まれ栽培されたという記録があります。

日本で多く栽培されているジャガイモに「男爵」「メークイン」があります。「男爵」は川田男爵が取り寄せた話で有名ですが、元々は 1876 年頃にアメリカで作られた「アイリッシュ・コブラ」という品種で、イギリスの種苗会社を通して 1908 年に函館郊外の七重（七飯町）に導入されました。日本に輸入されて 100 年過ぎた今でも最も親しまれている品種です。一方、「メークイン」は 1900 年にイギリスで紹介されていますが、作られた年や育成者は不明です。1914 年に釧路農事試作場で栽培されている記録があり、日本で作付けされてこちらもほぼ 100 年になります。他の作物で 100 年前の品種が首位を占めているものは他にありません。

(M. M)



ジャガイモの花

〈参考文献〉 園芸植物大辞典（小学館）、ジャガイモのきた道（岩波新書）、ジャガイモの世界史（中公新書）、ジャガイモとインカ帝国（東京大学出版会）、じゃがいもが世界を救った（青土社）、歴史を変えた気候大変動（河出書房新社）、ジャガイモ博物館（web：浅間和夫）

4月の園芸作業

このコーナーの園芸作業は札幌地方での目安です。
ここに掲載した以外の作業もたくさんありますので、
ご不明な点は緑の相談までお気軽に問い合わせください。

緑の相談受付 10:00~12:00、13:00~16:00

☆豊平公園 811-9370 月曜以外毎日

(月祝日の場合は受付し、翌平日休み)

☆百合が原公園 772-3511 4/26~ 木曜、日曜

☆平岡樹芸センター 883-2891 5/2~ 水曜、土曜

◆オモトの管理

オモトはユリ科の常緑草本ですが、古来よりお目出度い植物とされ、その葉芸の多様性が愛好され、多くの品種も生み出されています。

関東以西では、庭植えもされ、濃緑の葉に赤い実が楽しめますが、一方、一株で百万円以上もするような珍品もあり、奥の深い古典植物です。一般的には鉢植えで栽培しますので、鉢植え栽培の管理について述べていきます。

1. 植え替え時期

春の桜の開花期に行います。秋の樹木の落葉する頃にもできますが、なるべく春にします。

2. 鉢

オモト専用の長鉢で、楽鉢、駄温鉢、プラ鉢などが使われますが、観賞用のオモト鉢は形状、絵模様が多様で高価なものが多く、観賞上の大変な要素になっています。

3. 用土

- a 山砂・川砂
- b 火山礫
- c 赤玉土・硬質鹿沼土
- d 水ゴケ

などを単用にします。どの用土の場合も木炭や竹炭などを碎いたものを用土の間に混合します。

4. 植え替え方法

根裁きをした後、根を傷めないよう水洗いし汚れをよく落とします。この時、木炭などの粉を洗った根や分けたイモ(根茎)の切り口に塗布しておくと腐敗を予防できます。

株を鉢の中央に支えながら鉢底には大粒、中程には中粒、上部には小粒の用土を丁寧に入れ、表面を水ゴケで覆います。植え替え後、3週間から1ヶ月は肥料を与えてはいけません。

5. 置き場所

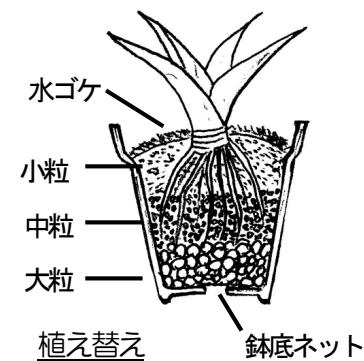
冬期間は室内(温室、ハウスを含む)に入れ、夏期間は戸外でも室内でも問題ありませんが、日当たりは次のように注意します。室内外共に、春、秋は強い光のあたる場合のみ軽く遮光し、朝夕は光に当ります。夏は日陰に置きます。夏に日に当たるのは早朝だけになるように注意します。冬期間は窓辺の適度な光の入る所に置きます。冬期間でも窓辺の強い光の当たる場合は、レースのカーテンなどで遮光します。温度は、年間を通し5°C以下にならないようにするとともに、極端な高温を避けるようにしましょう。

6. 水やり

鉢土の表面の水ゴケが乾き始めたら十分水やりをすることを基本とします。用土の種類に応じ、生育状態を見ながら水切れしないように適切に行います。特に初夏から初秋の間は用土や置き場所によりかなり乾きますので水やりには注意しましょう。

7. 肥 料

6月から9月まで、液体肥料のみ、または、固形肥料+液体肥料のどちらでもかまいませんが、一般の鉢花に比べて少なめに施します。濃度や量は、葉色や生育状態を見ながら適宜加減します。さらに盛夏は控えめにします。冬は生育が止まり休眠しますので与えません。



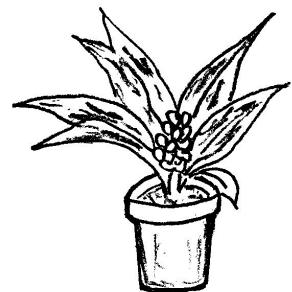
8. 病害虫防除

- ・カイガラムシ、ハダニ、ナメクジなど・・・捕殺するか、濡れ布などで拭き取ります。
 - ・赤星病（葉に黄褐色の小粒点が見られる）・・・早目に殺菌剤を散布します。
 - ・芋腐れ病、根腐れ病・・・清潔な用土を用い、過湿にならないように注意します。
- 発病した場合は植え替えの時、病気の部分を切除し、殺菌剤で消毒後木炭などの粉をつけます。

9. 花を咲かせ、実をつけるためには

鉢植えではやや大き目の鉢を用い、肥料もやや多目に施します。適切な肥培管理で生育を旺盛にして、株の肥大を図ります。株の直径が2cmを超えるくらいになると、5~6月頃には花茎を伸ばし開花するようになります。

開花期間中に雨や水やりで花穂が濡れると花粉が流れ落ちて受粉しにくくなるので注意します。開花中、日和の良い、めしへの柱頭が密で濡れている午前10時ころまでに筆などで花穂をなでるようにすると、受粉・受精がよくなり、秋には美しい実を多く付けることができます。



◆ジャガイモの浴光催芽（浴光育芽）

浴光催芽とは、植え付ける前に種イモを3~4週間ほど日光・温度・乾燥に当て、芽出しを促すことを言います。この処理を行うことで植付け前にコンペイトウ状の丈夫な芽が作られ、植付け後の萌芽も早くなり、収穫期も早めることができます。

処理方法

- ①植付けの3~4週間前から処理を始めます。
- ②小さな種イモは1玉のまま植えられますが、処理前に芽が塊で出る部分（頂部）を1か所切っておきます。
- ③種イモをカゴなどに平らに並べ入れ、太陽に当てます。かごの中で2~3段くらいまで重ねられます。重ねすぎると下になった種イモの催芽が遅れてしまいます。
- ④時々出ている芽を折らないよう注意しながら、上下や日の当たる面を入れ替え、温度・日の当たりに偏りのないようにします。
- ⑤できるだけ濃緑で短い芽を作るよう心がけます。
- ⑥温度は10~20℃です。居間などの日当たりのよい窓辺などが良いでしょう。
- ⑦5~10mm程度のコンペイトウ状の芽が出てきます。浴光催芽中に茎が長く伸びてくるものは種イモとして使わないようにします。
- ⑧種イモが大きいものは催芽後に1片が40~50gを目安に切り分け、切断後4~5日太陽に当てて切り口を養生してから植え付けます。

注意点

- ・25℃以上にしないでください。25℃以上になると種イモの呼吸が激しくなり、中心部が酸素欠乏となり芯腐れ（黒色芯腐）を引き起こします。
- ・植付時に芽が多い場合は、芽を手で搔き取り、種イモ1個につき3芽くらいに減らしましょう。

②頂芽を搔き取る



③並べて太陽にあてる



豊平公園緑のセンターからのお知らせ

緑のセンター補修工事のため、次の期間センターの休館を行います。

7月2日（月）～8月31日（金）（予定）

園地及びテニスコートは工事期間中もご利用いただけます。



4月～5月の催しのお知らせ



豊平公園 緑のセンター 豊平区豊平5条13丁目 TEL 011-811-6568 <http://www.sapporo-park.or.jp/toyohira/>

内容	日	時間	申込受付開始日	費用・備考
展示会				
春のヴィオラ・パンジー展	4月17日(火)～4月22日(日)			入場無料
園芸教室				
家庭果樹の楽しみ方	4月19日(木)	13:30～	4/11(水)～	無料
クンシランの植え替え	4月24日(火)	〃	〃	〃
アザレアなどの鉢花管理	4月27日(金)	〃	〃	〃
家庭菜園の土管理	4月30日(月祝)	〃	〃	〃
果樹などの病害虫防除	5月3日(木祝)	〃	〃	〃
トマト・キュウリなどの定植と管理	5月5日(土祝)	〃	4/17(火)～	〃
芝生の庭作り	5月6日(日)	〃	〃	〃
コンテナ(容器)菜園入門	5月10日(木)	〃	〃	〃
春からの洋ラン栽培	5月12日(土)	〃	〃	〃
連続講座				
【大菊つくり講座】 用土作りから開花まで 全5回の継続講座	4/17(火)、5/22(火) 6/19(火)、9/4(火) 10/2(火)	13:30～	4/11(水)～	菊苗など実費
【バラつくり実践教室】 春剪定から冬囲いまで 全3回の継続講座	4/28(土)、6/29(金) 10/27(土)	13:30～	〃	全3回で300円
アレンジ押し花連続講座 「簡単・キレイ 初めての押し花」 押し花の基礎から作品作りまで 全6回の継続講座	5/8(金)、5/15(金) 5/22(金)、5/29(金) 6/5(金)、6/12(金)	10:00～	〃	各回2,000円程度 (材料+道具セット代) 初回のみ5,000円程度 (材料+スタートキット付)
ボタニカルアート講座 基礎から作品作りまで 全10回の継続講座	4/27～11/9 (各金曜日・全10回)	10:00～	3/11(日)～	10回で12,000円 絵の具など道具代 別途かかります。

百合が原公園 緑のセンター 北区百合が原公園210 TEL 011-772-3511 <http://www.sapporo-park.or.jp/yuri/>

内容	日	時間	申込受付開始日	費用・備考
講習会・実践講座！				
やさしいセントポーリアの育て方	5月2日(水)	10:30～	4/11(水)～	130円
展示会				
春の花展	4月1日(日)～5月6日(日)			温室入館料130円
セントポーリア展	5月2日(水)～5月6日(日)		北海道セントポーリア愛好会	〃
キッチンガーデン展	5月8日(火)～5月13日(日)		コテージガーデン	〃

平岡樹芸センター 清田区平岡4条3丁目 TEL 011-883-2891 <http://www.sapporo-park.or.jp/jyugei/>

*** 4月29日(日)オープンです。 ***

緑の相談コーナー	5/2(水)から。水・土曜10:00～12:00、13:00～16:00 受付			
講習会 内容	日	時間	申込開始	費用・備考
春の庭仕事(座学)	5月13日(日)	10:00～	4月29日～	100円

その他の公園



イベント 内容	日時	備考	問い合わせ・申込み先
子りす工房～こどもの日 「壁かけピエロを作ろう！」	4月15日(日) 10:00～、13:30～	要申込：300円	西岡公園 582-0500
グリーンシーズン OPEN！	4月20日(金)～	駐車料金有	滝野すずらん 丘陵公園 592-3333
パンジー・ビオラ Collection2012	4月28日(土)～7月1日(日)	エリアにより別途入園料	
カエルのお絵かきをしよう！	4月21日(土)13:30～15:00	直接会場へ：先着	さけ科学館 582-7555
カエルの絵作品展	4月27日(金)～5月6日(日)	直接会場へ	
平岡公園梅まつり 2012	5月1日(火)～5月24日(木)	直接会場へ	平岡公園 881-7924
さっぽろ園芸市	5月3日(木祝)～22日(火) 平日9:00～17:00、土日祝9:00～18:00	直接会場へ	中島公園 511-3924